

ビロリ菌

胃がん予防に前進

木暮院長の患者サポート⑭

木暮院長は「ピロリ菌は

検査には、内視鏡を使う

胃の粘膜に付く細菌の一種

検査のほか、尿や便、血液

で、胃潰瘍や十二指腸潰瘍

呼気で調べる方法などがあ

く浸透しています。胃がんの発生要因として広

が陽性と診断された場合、

境の影響等から50代からの

内服薬で除菌治療を行いま

感染率が高くなると言われ

す。これまで保険適用は、

早期に感染有無の検査が必

慢性胃炎や十二指腸潰瘍など

ており、胃がんを防ぐには

胃潰瘍や十二指腸潰瘍など

早期に感染有無の検査が必

限られた疾患への適用でし

たが、胃内視鏡検査により

慢性胃炎の所見が確認され

されることになりました。

患者様の負担が減り、胃が

ん予防も促進されるでしょ

う」と木暮院長は話す。

木暮 悅子 院長

昭和大学横浜市北部病院消化器センターにて工藤進英教授のもと、内視鏡技術を学んできた。「患者様から信頼されるかかりつけ医」をモットーに親身かつ的確な診療を行う。

胃がん発症の要因とされているピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ）の除菌治療に関して、今年2月、慢性胃炎の場合でも保険が適用されることになった。

胃・大腸内視鏡の専門医として、がんの予防に努める木暮院長にピロリ菌の危険性について話を伺った。

年齢の方は大腸がんの発生も急増しています。早期に発見すれば完治できる病気は多い為、40歳をすぎた人は定期的に胃や大腸の検査をしたほうが良いでしょう」と木暮院長は早期発見・早期治療を促している。

木暮院長は「ピロリ菌は胃がんの発生要因として広く浸透しています。衛生環境の影響等から50代からの感染率が高くなると言われており、胃がんを防ぐには早期に感染有無の検査が必要でしょう」と説明する。

検査には、内視鏡を使う検査のほか、尿や便、血液呼気で調べる方法などがあるという。「ピロリ菌の感染が陽性と診断された場合、内服薬で除菌治療を行いま

木暮クリニック

胃内科 消化器内科 内科 胃・大腸内視鏡

診療時間 月 火 水 木 金 土 曜日

9:00~12:00 ● ● ● ○ ● ○

15:30~18:30 ● ● ○ ○ ○ ○

TEL.044-870-7710

http://www.kogure_clinic.jp

休診日 検査は平日・土曜に行っています

木曜・日曜・祝日

〒213-0031 横浜市高津区下作延2-4-3 潟の口メディカルモール3階

TEL.044-870-7710

http://www.kogure_clinic.jp

休診日 検査は平日・土曜に行っています

木曜・日曜・祝日

〒213-0031 横浜市高津区下作延2-4-3 潟の口メディカルモール3階

